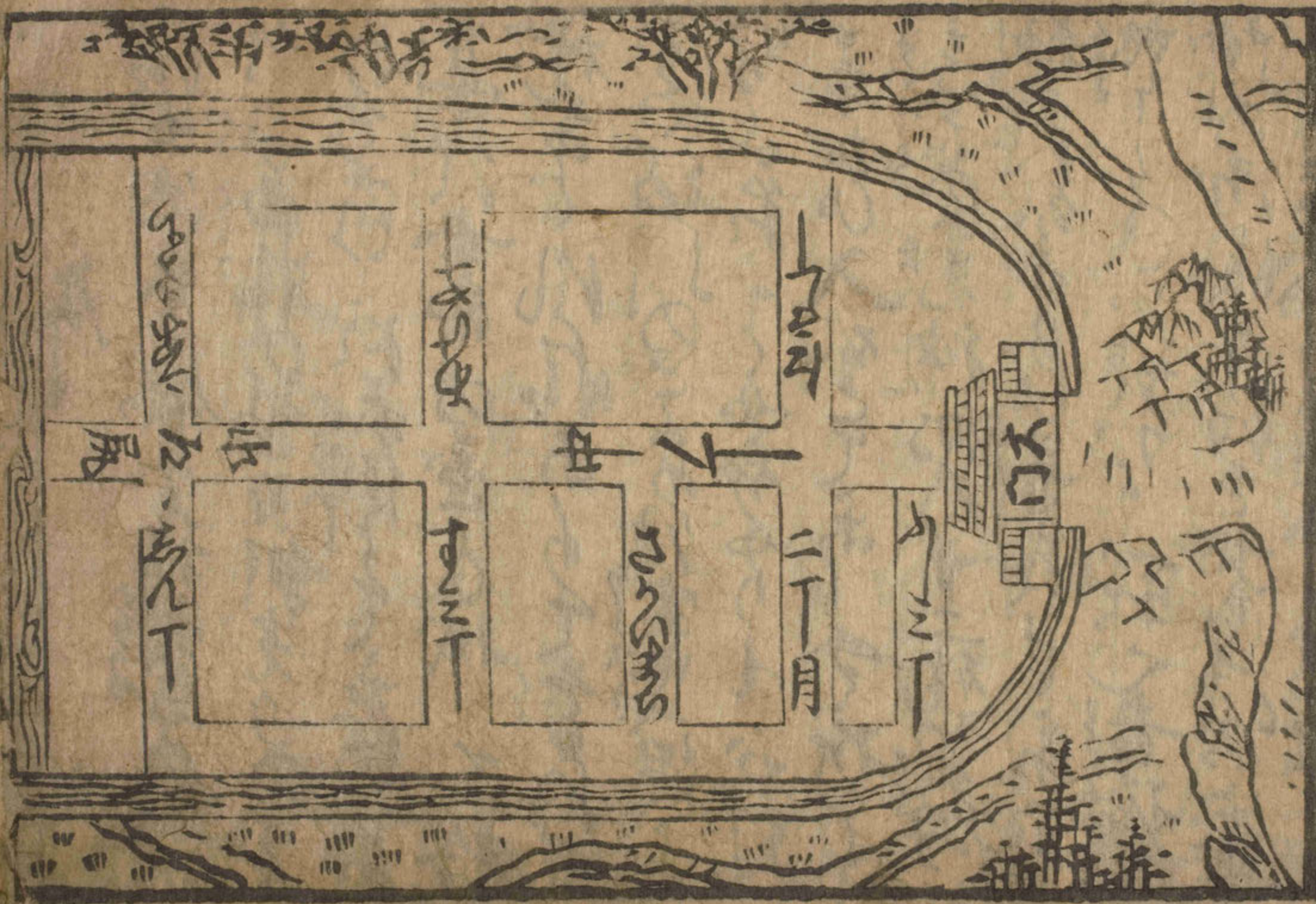


元文回斗

望
老
氏



入町之圖



序

清少納言の廢きし暇きのみふ
るま曲輪の初日新まうのど
けりやゆては嘉例とて庭火ふ
集れ女郎の面も拭て蛤
焼あぐん焼あぐてそまわむ
とや繩のさよめは宝曳繩よ
かるるあぐと女郎やうまおけ
まらあひ入札とてあぐを折る
まらあひの荒神柳乃十二焼と
神又取まらあひ善哉と承へる
郭りりゆけりかゝる神と音
所の清園りゆと女郎の不定め
して百人一首はなふ吟
吟ふ揚あひゆく曲輪は
昌の



名者のあやうきまゝなりふゆみ今
 時辰はつとまきふも般多たの手をう
 ちま とうち ちま尾
 中きて秋とほつやさる雄山



ふらふと人かふりたつこのそのおは
 りくさふりあーとて

曰 玉や田 花は家
 京成押とむじふたや家ノの水



かりし とうち わけまた
 はじ穂まで名とあけあれ相は



曰 曰 山 山
 おまとのこのあつ山路や花さる



曰 曰 ころよ
 りつらや竹をさーれあふさ



曰 曰 ちの橋
 人のさうはたふさぬさあれま



曰 曰 ころ浦
 ともを物菊のさう根の床定あ



曰 曰 ころ浦
 ともをさう浦へてタふさる



曰 曰 花さ
 花鳥やむすひれ神のさあられ



日 日 紅梅



日 日 赤梅



日 日 赤川



日 日 赤くえ



日 日 赤くえ



日 日 赤くえ



日 日 赤くえ

きり

江戸町おるま



日 日 赤くえ



日 日 赤くえ



日 花 咲
 花 咲 後 何 し とい く 幕 の 内



日 花 咲
 あ け 城 う り 子 花 咲 の 春 まで



日 花 咲
 千 代 ち ら け 福 も 夢 の 強 け だ



日 花 咲
 初 葉 の 花 よ 目 守 れ ぬ け だ



日 花 咲
 山 口 内 春 まで



日 花 咲
 美 日 花 の あ け 花 や 夢 の 春 まで

きょうり

花 咲 左 へ



日 花 咲
 草 花 や 花 も 春 の 春 まで



日 花 咲
 初 葉 や た ぐ 花 春 まで



日 花 咲
 花 も 春 や 春 まで 春 の 春 まで



日 花 咲
 天 花 春 内 春 まで

春 まで あ け 城 う り 子 花 咲 春 まで



日 といふや といふ浦
といふ浦や 郊の松の葉の香を 秋



日 といふや といふ花
といふ花や 浅き水の 中の 魚の 香を 秋



日 といふや といふ梅
といふ梅や 夢の 内なる 笑の 香を 秋



日 といふや 肉清山
清くしと ことと ばし 小春に 風



日 といふや といふ山
いん 山に 風が 吹く や 秋の 香を 秋

是より
二町目存かし



日 といふや 小松屋
いれあふれ 花を 散らす や 秋の 香を 秋



日 といふや といふ山
いれあふれ 山を 散らす や 秋の 香を 秋



日 といふや といふ水
いれあふれ 水に 散らす や 秋の 香を 秋



日 といふや といふ玉
いれあふれ 玉の 散らす や 秋の 香を 秋



日

壬辰 辰花

壬辰 辰花の花れ縁うた



日

丁酉 辰山

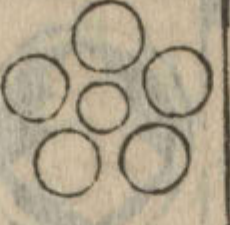
丁酉 辰山の国や月乃入り所



日

辛丑 辰山

辛丑 辰山の花の心やあゝ物さう



日

壬辰 辰坂

壬辰 辰坂のうすきさう



尾張屋内市川

市川と名にこそ立れ悔る唐



大松屋内才太夫

山菜花の裏にをされぬ才太夫



日

乙酉 辰山

乙酉 辰山の国や月乃入り所

先づ

二町目左に



日 山猫をけ 河を

くのみまの川のほとりへて



日 山猫をけ 山猫

衣紋けふもあやうのぬき草



日 山猫をけ 山猫

書きや麻もあはるる乃拜



日 山猫をけ 山猫

おのりやかりのよはるあまを



日 山猫をけ 山猫

ききもあまのよおあま



日 山猫をけ 山猫

おのりのききふらうやむら



日 山猫をけ 山猫

あむもかんさる新なる風の秋



日 山猫をけ 山猫

とむらう人いさるお鷹賞



日 山猫をけ 山猫

あむのかたはあまやゆ花のあ



日 津の虫屋敷 九重
九重やうきもの苦れ物やうけ



日 倭原屋敷 小葉
洞合の毒が虫屋敷——小葉



日 山吹
山吹やうきもの苦れ物やうけ

是より

角町右より



日 山口内 ありき
奥のやうきもの苦れ物やうけ



日 大いやく ねり枝
ねりえの雪うきもの苦れ物やうけ



日 竹馬屋敷 小の川
うきものやうきもの苦れ物やうけ



日 かきやく ありき
ありきものやうきもの苦れ物やうけ



日 あびやく 清川
清川ものやうきもの苦れ物やうけ



日 山口屋敷 雲山
雲山ものやうきもの苦れ物やうけ



日 八重 赤黒内 八重赤
今郎もど男あり女郎花



日 山 山の井
山も母のふと母のふと母の本



日 花村
も母のふと母のふと母の本



日 平井 赤黒内
お梅やふと母のふと母の本



日 赤黒内 赤黒内
吹く風にふと母のふと母の本



日 大坂 赤黒内 大坂
大坂れ風にふと母のふと母の本

是より

角町 九



日 赤黒内 小坂
お月やふと母のふと母の本



日 赤黒内 赤黒内
お月やふと母のふと母の本



日 ばのまゝに あゝきく
あゝまゝあゝうゝきけりうゝけ



日 けゝや内 今代
八重むゝあゝうゝ今ゝふゝゝ幕



日 中の方や内 きん山
あゝのけゝあゝあゝの雪解け



日 りゝや内 きん山
きん山の姿あゝぐゝや雪の雪



日 楊木や内 楊
お如帰とのれち花け弾け



日 りゝや内 表家
かゝのいゝうゝけあゝあゝ



日 玉屋内 花の井
雪の井れ表家の雪や雪の水

是より
京町右かま



日 りゝや内 紅梅
お梅や八きのかけの八き



日 ともやせ 和菊
和菊や結ひ——あめのうろこ



日 ちんま ちんま
ち柳やちんまの髪も末結田



日 ちんま 八重梅
朗妙の八重梅の名やゆりあり



日 花月 花月
花月も花月集ても根毎のまの玉



日 花月 花月
花月の顔にやあゝぬれ花



日 山月 八重
花月の名取草あり袖さそ



日 八重 八重
さよ梅やあの方の夢足の高花

もより

末阿たむ



日 八重 八重
あゝ梅をいこやにきては花



日 八重 八重
は花やいこやにきては花



曰
あひや内 ありさ
うゝるれはのゝむきふの原の曲



曰
あひや内 通修
うゝてへ螢をまゐのゝみひぢや



曰
田原や内 心せ聖
る後秋や若すうけ勢のまわり



曰
りや内 今時
りえちう今時山のさうこさ那



曰
きりや内 松一の
えきやあふそまゐのゝ夕月夜



曰
相屋内 けうか
けうかや雪もさけけり茶後下終



曰
かきや内 友波
友波やそめさうのゝぬり抑



曰
松木屋内 花葛
後秋や花のうゝまありれせ



曰
山原内 ありさ
あさうやあまのゝの夜れまゐ

新町おくら



日 ちまのや ちま
ちまのやとほろやあのかき川



日 近江の せんめ
近江の竹のゆりやあまのふ



日 大善の 菊の
大善のやぬのよはるゝあ



日 相善の 女良花
相善のめとを情の花の園



日 丸屋の 海老
丸屋のやすの鶴や海老あ



日 大善の てん
大善のの牡丹小蝶のりてん



日 わさの 柳の
わさのの秋とあやや少年あ



日 山本内 ちま
山本のちまのちまのちま



同 大田屋 新川
新川よりとくといふ橋

きり

新町九



同 山城屋 本家
風流や半面美人庄太夫



同 巴里屋 本家
中より式部とよと今とに



同 本家
舞扇よりとて色のかき



同 加賀屋 本家
小村や三保小江戸のちの夜



同 越前屋 本家
連弾にきむとての雄の声



同 本家
風流や大井のちの夜

昼夜三分一 右片をまゐりて分二系

昼夜三分一 右片をまゐりて分

昼夜九分一 右片をまゐりて十二分

右家より 右片をまゐりて十六分

會取良方

越白丁町男女

女帝多令人別帳

のちとて

みき

いづや番
よりやに
あやや
またや
またや
またや
またや
またや

江戸町

いせや 長たう
あつらや 七女
いせや 妻と人
つらや 女と人
あつらや 八と人
中あつらや 女と人
長たうや 女と人
あつらや 新と人
いせやや 母と女
あつらや 仁と人
つらや 女と人

子也や赤く
 子也や金く
 子也や木く
 子也や虫く
 子也や平八
 子也や家く
 子也や又く

かたりや務る人
かしや成る人
さしや成る人
そりや又なる人
あらや成る人
かりや七なる人
りや成る人

せや成る人
とうや成る人
大つや成る人
あつや成る人
ひや三九下
なや成る人

かや成る人
ふや成る人
いや成る人

阿日

己月や者き人
 西にせんや者き人
 ひのや者き人
 己月や者き人
 西にせんや者き人
 ひのや者き人

二
一
一
一

高人きや倅ら
あつまやれき人
中川や久右ら
まうや倅ら
糸屋や甚左ら
うづらや甚右ら
まうや甚左人
きんや中左人
一見や加左人
ま川や甚左人
さういまう

よりや傳ふ
やまや久し
つるや十人
よりやかき
うらやふ
若田や平八
多やふ
おやや花

よきや久し
あひや好家
年や七人
あやや花
にや八人

わけや所

つるやふ
よりや花
あひや花
あひや花

あやや花
よりや花
あひや花
あひや花

かりや花
つるや花
さるや花
うらや花
長や花
せにや花

あやや花
よりや花
あひや花
あひや花

商人

系すし

商人

あやや花
よりや花
あひや花
あひや花

一〇い

山

あやや花
よりや花
あひや花
あひや花

角丁

あやや花
よりや花
あひや花
あひや花

あやや花
よりや花
あひや花
あひや花

新丁

あやや花
よりや花
あひや花
あひや花

中の丁か 右

松や十ヶ所

松や十ヶ所

いづや十ヶ所

いづや十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所



竹長関

商人又

桐や十ヶ所

商人又

同

葉種

人形

家

家

家

中の丁か 左

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

わけや



海老屋

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

松や十ヶ所

わけや



尾張屋

三河やぶ屋

松や七平

あや又き屋

そう物やれき屋

商人や市き屋

あけや



和泉屋清六

あやとくき屋

あやとくき屋

あやとくき屋

あやとくき屋

あや又き屋

うとんや物き屋

ひやとくき屋

あけや



梅屋又き屋

梅や小き屋

ねんや八き屋

きりきりせん

梅屋 ちき屋

大和や物き屋

平のや物き屋

あけや



若狭屋庄三良

つとや物き屋

江戸町を丁目 石子



惣文令

二分

江戸町を丁目 石子

さくら木
しし木
あけ木
しし木
あけ木

さくら木
しし木
あけ木
しし木
あけ木

の店

惣文令



江戸町を丁目 石子



さくら木
しし木
あけ木
しし木
あけ木

さくら木
しし木
あけ木
しし木
あけ木

さくら木
しし木
あけ木
しし木
あけ木



惣文令

二分

いのちをさる

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう



まゐりやうをさる

三分 二分 二分 二分 二分 二分 二分 二分 二分 二分

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

惣文金 二分



いのちをさる

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう
あやう

惣文令

二分



巴を源に

〆 〆 〆 〆 〆
ゆきき
みちの
たうに

〆 〆 〆 〆 〆
ゆきき
あさう
とよみ
せうの
せうの
〆 〆 〆 〆 〆
きん山
小れん
小の

三分

二分



山に七

〆 〆 〆 〆 〆
ゆきき
二入

〆 〆 〆 〆 〆
ゆきき
あやめ
ちん
ゆきき
せうの
〆 〆 〆 〆 〆
とよみ
きん山
小れん
小の

惣文

二分



西国又

〆 〆 〆 〆 〆
ゆきき
ゆきき
ゆきき
ゆきき
ゆきき

〆 〆 〆 〆 〆
ゆきき
ゆきき
ゆきき
ゆきき
ゆきき
〆 〆 〆 〆 〆
ゆきき
ゆきき
ゆきき
ゆきき
ゆきき



子に次

子に次

子に次

子に次

子に次

早所を所ぬる

梅子  玉座山の家

文帳一収
文令一収

花袋
二人乗

あけ
みちの
よいち
あけ

あけ
あけ
あけ
あけ

あけ
あけ
あけ
あけ



大津屋元

花袋
二人乗

あけ
あけ
あけ
あけ

あけ
あけ
あけ
あけ



新上徳屋利

■三分 ■二分 ■北

花袋
二人乗

あけ
あけ
あけ
あけ

あけ
あけ
あけ
あけ

あけ
あけ
あけ
あけ



■三分 ■二分

空張屋次寄門

あけまた
松山
たつこ
そのま
ととら

う川山
あやめ
まの

あきー
うぐぬ
とこよ
小い糸
ととら
あきさ
みやこ
うまう
松久人
りりあ
八重菊
大はし
たしとみ



天海堂仁左衛門

■三分 ■二分 ■九分

あけまた
むさしの
あや
あつま

玉福

う糸
大はし
八重梅
なち花
あつら
神家
玉川
神ま
あつ梅
まんよ
こま



巴屋源太衛門

■三分 ■二分

とよ浦
その系
うさ
とら
とよ里
あつ

水山
王な

へうめ菊
松う
りりさ
きん山
花は

俵

惣丈金

二

分

俵金儲蓄門

神花
中花
小の梅
まろ久
きこく

山の井
こよう
神風
いくよ
うとさん
おち花

と山
金ま
尾の
ま山

事

惣丈金

二

分

あまやま

う梅
ひと
清子
あま

花う
清下
王く
ま山
み山
あま

うう
うう
あめ
あま
八重

田

惣丈金

二

分

あまやま

甘山
たれ
たれ
あま
あま

あま
こり
う
あま
あま
あま

あま
あま
あま
あま

二分一 七尺五

酒老中老晴

ちきと
金更
さん
く山
ゆ
ゆ
ゆ

山崎の村に秋の

多志
炎燄

卦斷月夜多始り



小松登壽之助

三分
二分

今氣
今氣

けいこ
終のひ
花の糸
あやよ

川邊のふみ
たけのこ
うす
ちん

けくみき
いなる川



一文字中政之忠

三分
二分
九分

ㄟ ㄟ
ㄣ ㄣ

まゐりの
つぎぎ
めい
とよ
ふ

唐川
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ

柏子灰
 之
 之
 之
 之
 之



三
分
二
分
一
分

修之也

卷之六

[illegible]

二分

吳庫登平堂



牛車
清江
乃乙
と見
丸月

今更
楊子
唐日
花井
起に

いさ
ち村
いさ
ち村
いさ
ち村

花井
村の
花井
村の
花井
村の

二分

市為助七



山陰

人
情
道

三



三介

二分

廿四

丁おや長き唄

△△
あにき
あひ唄

△△
あにき
あひ唄

△△△△△△△△
きききき
きききき
きききき
きききき
きききき
きききき
きききき

橘久人
のうせ
のうせ
のうせ
のうせ
のうせ
のうせ
のうせ

中
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

貼店

貼店



半世や九十九

■三分

■二分

■廿二

山

花
とよとみ

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



富

■三分

■二分

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



か

■二分

■廿二

市
とよとみ
とよとみ
とよとみ
とよとみ

とよとみ
とよとみ
とよとみ
とよとみ
とよとみ

とよとみ
とよとみ
とよとみ
とよとみ
とよとみ

惣文令

■ 一分



大松屋市郎左衛門

△△△△△△△△
小松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋

△△△△△△△△
松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋

松久

森川屋

森川屋市郎左衛門

△△△△△△△△
松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋

△△△△△△△△
松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋 松屋

松久

武町目左衛門

松久

命

【三分】 二分

山根成りたて

△あふふ

△みふ山

大々々
松風
みふふ

△あふふ
△あふふ

△みふ山
△あふふ

【三分】 九分

山根成りたて

△あふふ

△みふ山

大々々
松風
みふふ

△あふふ
△あふふ

△みふ山
△あふふ

大々々
松風
みふふ

△あふふ

山根成りたて

【三分】 二分 九分

△あふふ
△あふふ

△みふ山
△あふふ

大々々
松風
みふふ

大々々
松風
みふふ



二分

壯

吳應公仁立清

へちやへう

大元
号

うう
いの

齊

之

八

七

坂城



二分

廿四

玉璽之書

卷之五

三列

三

德重

漢書

花

五里

卷之五

己ノ季
ちよとを
そで
次は浦

黃竹 去乃風 去乃風 去乃風

ゆゑに

備



二分

九口

巨野縣志

浦里

子安

三才

らてう

范村

その

きんぎょ

卷之六

九

德化

...



惣文令

二分

日るちや八糸花門

日る村
高ま
徳花
初菊

初糸
日る村
小糸
初花
夕の
徳花

夕の
日る村
日る村
日る村
日る村
日る村

高ま
菊
糸
糸
糸
糸



二分

廿二分

十の字巴や花の糸

そめ山
むとハ

とよ浦
とよ浦
とよ浦
とよ浦
とよ浦
とよ浦

とよ浦
とよ浦
とよ浦
とよ浦
とよ浦
とよ浦



二分

廿二分

糸田をちた花門

いさ
いさ
いさ
いさ
いさ
いさ

いさ
いさ
いさ
いさ
いさ
いさ

いさ
いさ
いさ
いさ
いさ
いさ



二分 廿四

はの玉屋たき清

くろく
あきの
菊川

松久
花名
あき
その
く月

あき
花名
み
その
玉の井

きり



あきの玉屋たき清

あきの
玉の
あきの
あきの
あきの

あきの
玉の
あきの
あきの
あきの

あきの
玉の
あきの
あきの
あきの

あきの



あきの
玉の
あきの
あきの
あきの

あきの
玉の
あきの
あきの
あきの

あきの
玉の
あきの
あきの
あきの

あきの玉屋たき清

あきの

角所おるまの歌



ふべ助八幡

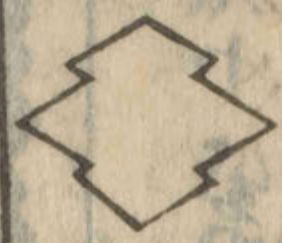
■三分 ■二分 ■北に文

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ



大妻やおん代

■二分 ■二分 ■北に文

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ



竹方おん代

■二分 ■北に文

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

あふあふ
たふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ
とふあふ

賀屋

惣文合

二分

賀屋と土佐門

へ 清苑

へ 日吉

へ 世と

へ あり

へ 大さ

ちよ

大さ
山の
くさ
た
村



惣文合

二分

油老屋家

へ の

へ 日

へ て

へ 清

へ あり

へ 小

み

世

清

ひ

ち

あ



清川
清
み
あ
り

松山
あ
と
山
大

二分

北

山

へ て

へ 日

へ 世

へ あり

へ 大

あ

ち

あ

大

二分

家田屋

家國在後

八十壽
みき兒
うう梅
万寿
のひ

あゝ橋
かま
こまじ
こまじ
あゝの

もみぢ
りりり
もみぢ
もみぢ
もみぢ



二分

九

一書金匱

一の井
 こと
 友
 西菊

漢之
王莽
幼風
小篆
と人
てふ

漢書
考爾
李菊
神
和山
王浦



二

六

小義第七

觀村令
荒久
尾久

村々橋
傳々々
みりり
みりり
浪の

あるの
に
よ



長とみ

三分

一

九

平野如虎之勢

▲▲▲▲▲
 夢見 下 七 下 夢見

きせ川
さくさみ
いと
あさ
さく
やど

秋の
さくら
あさ
うの
り
松

1

三分

分

北



あまのうき木

大村
子
方
志
志
川
中
木

さくら木
栲の
糸山
よま浦
きぬ

海峽傳記

二分

九

大塚

大つや岩保

大
西
今
中
古

やそ 湯
やちよ
大 岸
ア る 女
あ ち よ
き いて う

山崎村

揚州

角所

たろいの水

世

三分 二分 北に

万字や衣の衣

花よ

小市川
とみ山

万市川
とみ山

万市川
とみ山

昭店

二分 北に

字桐や衣の衣

桐屋

あさり
花月
とみ山

あさり
花月
とみ山

あさり
花月
とみ山



二分 北風

律の宮や溪之助

有氣

へみこ

保之反

梅久

志のめ

後志

そへ

222

志



二分

葛原庄助

今よ

里
今

子又

可也

しるよ

其山

王公侯

ふのい

今



三分 二分

中乃學不勤之過

明山

文苑

花松

北山

歿于女

之義

長江

乙の

卷之五

うめ

之

之

ちやんと

村
世

弟



二分

北に文

うぐさすうさす

金 山
よ の
松 風
あ ま
や
に ち 花

み ち
山
み ち
う ち
と ま
こ ち
さん ち

き せ 川
は 花
あ ま
金 文
は 文

橋 本

二分

北に文

橋 本

あ 木
た ち 花
あ ま
花 山

み ち
山
あ ま
あ ま
あ ま
あ ま

こ ち
あ ま
あ ま
あ ま
あ ま
あ ま

明 店

【二分】
【北にる】



伊勢金をき清

△こり葉
△こり葉
△こり葉
△こり葉

△村也
△小山
△あき
△あき

△小きし
△あき
△あき
△あき

△こり
△こり
△こり
△こり



玉金庄

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

東内を何あおるもの

三浦

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき
△あき

惣丈金 二分

佐野屋作之助



うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物



うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物

二分 北四本

錢屋

うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物
のう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物
うう物

うう物

二分 北四本

俵

俵屋長右衛門

三分

二分

八重木
七川
若清
久山
八平

おの東
八十郎
王うろ
ささう
ゆしう
八重木
あやし
くろい
王とく
八重木
松ざり
妙風
花巻



万字屋長右衛門

三分

二分

廿四分

花月
今高
花巻
の村
あけ巻

花山
あつま
うとみ
花巻
花巻
妙村
八重木
花巻
おの
と山
花村
おこと



後屋長右衛門

二分

廿四分

花巻
ささの
ささの
花山
い

花村
と山
ちとせ
みあひ
おこと
ていり
おと
みやこ
ささの
つる巻

山屋

山名

三分

二分

北風

ふてふ
てふふ
あふふ
そてふ

三
松風
子
三

清苑 王村 王村 王村

せい
ありん
ありん
ありん
ありん

二分

北

富貴

五回卷八

漢に
去る
志の
和風

菊
子
方
名
氏

さしひとる
はるその
ちんども
初候

東之
漢書
以之
不象
東之

東阿臺阿自虎之之

二 撫子 肅 孫 三 子

卷之五

楊久
月天

冬 冬

三ノ川

齊

日入

乙亥

紅梅
同六

慈菊
日人

大山
吳山



榎子三浦海防

大金二五

神菊
二五九

みよし
目入

みよし
目入

みよし
目入

すめ
目入

とめ
目入

みよし
目入

みよし
目入

みよし
目入

みよし
目入

人さ
いさ

みよし
目入

みよし
目入

みよし
目入



長崎屋

あさ
あさ

あさ
あさ

あさ
あさ

あさ
あさ



あさ

あさ
あさ

あさ
あさ

あさ
あさ

あさ
あさ

忠臣孝子

北風

子

妙法蓮華經

久安氣
己村
あよ
みち
と
ろ

二分



北風

此乃也

懷歷古蹟門

いせの
いちの
そてし
そあふ

山ノ下 市村 志川 松風 今案

いせの
浅水

1

三分

1

二分



北回系

和泉屋

和泉屋佐九郎

今
玉
白
玉

へりよいち
 へりさと
 へり菊
 へり村
 へり小の川

たまた
あふれ
玉のい
小むき
中よい

玉子
今更
うう
うう
とよ

相屋

二分 北に

さりや三橋

八 杯の
△ 上の菊
△ 上の梅
△ 上の梅

へみさるへ上の取
あれの 菊
こさま うこの
まき 八こと
おま



二分 北に

相屋 三橋

△ 上の
△ 上の
△ 上の
△ 上の
△ 上の

へせ川 浪う
△ 妙花 八手菊
△ 大古 玉川
村せ とう梅
初風

熱文金 二分

賀屋

かがや七三橋

△ 上の
△ 上の
△ 上の
△ 上の
△ 上の

△ 上の 山の井 ていり
△ 上の 小葉 浪う
△ 上の 花鳥 風お
△ 上の 菊

昭代



■三分八厘 ■二分

梨屋中ちんぽう

△花うゝ
△玉うゝ
△松
△村

村セ
うゝ村
うゝ村
うゝ村
うゝ村

八と
松山
松川
花村
市六

菊多
妙と



■二分 ■北に各

山屋七

△あさと
△大
△うゝ
△ち
△の
△村

△あさ
△大
△み
△志
△ち

み
山の井
玉
み
い
ち

その
松久

京阿二所めあうまの歌

三
分
二
分

ちのちゆゑん



大々々々々

世高志色懷衣

子乃 玉川 乙巳 山一乃 五以 志乃

三十八五山志廿六

三分

何少也 仇玄瑞



とろろとろろとろろとろろとろろ

七
 音
 音
 音
 音
 音

五言古詩
山行記

山子多
海よ久

三分 二分

大菱也久保門



八重子
山とち
高し

八世川
 八こさ
 八こよ
 八み
 八こ
 八万

人言
古往
今來
波平
水清

少
 少
 少
 村
 大
 古



三分一

初義也市橋

女之貌

德苑
德芳
德芳
德芳

卷之五

八
象
漢
王

小紫

高村
王

ありや

秋のころ

丸

丸厚甚於肉

三分

陳之叔

山
松

觀音

志名
其子庫

多
花村

花其

志林

志のくめ
志のくめ

少

其多改
細也

山
その山

廿二

子安
子之

二分一北四色

大之也 庄 趙

大興

秋の
ふりそ

入懷歎

人
少
也
日
衆

沙梅

卷之六

之義

三聖神風



■ 三分 一 二分

何のもちぢう

万々
みやま
中々
うめつ
もろ

り
う
れ
お
あ
う

と
や
た
白
と
ま
は

その
ち
み
小
み
ま
ま

の店

■ 三分 一 二分

宋

山 中 助 ちぢう

ろ
玉
み
ろ
川

さ
う
く
甘
と
た

り
さ
い
う
は

大巴查之有門

清村 芳村
花 世 彼 世

京町二丁目あるもの部



二分

己戌丑九子坊

尺志と
梅梅山

二分



巴菱屋瓦城

とよ海
みちの
すの
いとく
たの

長

二分 九尺多

長屋金平坊

ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ

ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ

ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ

賀屋

三分 二分

かたきやきや坊

ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ

ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ

ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ

ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ
ミミミミ

胎痕



二分 九分

越前やま

村のうま
花里

市川
花村
うま

み
の
村
い
和
た

く



二分 九分

ふみ

あ
う
ま
花
里

和
花
村
う
ま

や
和
花
村
う
ま

和
花
村
う
ま

心店

ヤーミ丁の部

■中巻

中国屋 柳をり

むめ葉

へんせん
あやよ
今よ

■
むめ葉

せんの
あやよ
柳山
きん
の山

日

三々々 屋をり

むめ葉

へんせん
あやよ
柳山
きん
の山

日

いっさや ちをり

むめ葉

へんせん
あやよ
柳山
きん
の山

日

つゝ屋 友八

むめ葉

へんせん
あやよ
柳山
きん
の山

日

玉屋 万次郎

むめ葉

へんせん
あやよ
柳山
きん
の山

むめ菜

日

あひすや 志女

△村せや村玉臨
△久村まみ久村
△むらさき今家惣ざり

日

むめ菜

たより屋判書

△いよのふ川 志のきと
△小の湯ふのふ 志のきと
△とせそめ 志のきと

日

むめ菜

志田屋 三民舞

△あけまたうい中う
△せ川 志のきと
△とせそめ 志のきと

日

一産屋

さうい屋

△とこま せ川
△徳川 志のきと

守す

とつふ

江戸丁川岸之記

酒店

平の居て多き處

△乃受
△七子
△松之

つみくぢ
ももも
あんにょ
まんの

六

めうく 惜 八

日

凡寸

いみじくとはい

いさなを

同

尺寸

へまな
へあう
まろさ
とこよ
うさの

とくみよ
とくみよ
とくみよ
とくみよ

うさの

と

四

車底漆云

尺

まゐよ
八事次
ちとせ
己久也

たむやうめ
その人

八
七
六
五
四
三
二
一

う
まの
人

同

いづや十巻

人知系

細村

尺寸

八字菊

...

ようふの
村本の

江戸屋平太夫

尺寸

尺寸

まきあ
まきこ
とら
神妙
日村

尺寸

巴屋街太夫

尺寸

尺寸

市川
まきこ
とら
清の
おの
市村

尺寸

いせ屋平太夫

尺寸

尺寸

おの
まきこ
とら
神妙
おの
市村

尺寸

松中屋久太夫

尺寸

尺寸

おの
まきこ
とら
神妙
おの
市村

尺寸

信女屋仁太夫

尺寸

尺寸

おの
まきこ
とら
神妙
おの
市村

あけを丁取り

うやひ

水泉山宗業

清り
飯村

山
の

梅その屋と名来

日

四寸

日

梅の
ねん山の
あまの
妙の
まけの

いよ
ひよ
ひと
いよ
そて

つひ

いさや

大
川

り
山

つひ

さう

万
村

り
村

日

四寸

梅
う
せ
さ
あ

さ
妙

めう

日

日

四寸

へ
ま
り
松

あ
あ

浦
さ
あ

振板屋いふ

日 尺寸

きて
みる
まろ
やま

商店

日 尺寸

井筒屋線あう

松井
方更
いよの
つる
ねぐ

糸丁たんの糸尺寸と世の物

大黒 蝶屋久去糸

むあ糸

みる
とよ
ころ
きよ

10X
668
154
12

西の川

つる川

つる川

つる川

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

元文四年

未 太良月日

大傳馬三早目

板元縣形屋孫共衛

つる

011-1

三ノ川
屋敷

三ノ川